

2022年 4月 26日発行

地域の医療関係者の皆様へ、当院からの医療に関する情報や様々なお知らせを発信するため、病院メールマガジンを配信します。是非ご活用ください。

- ☆★目次☆☆
- 1、はじめに
  - 2、トピックス
  - 3、新着情報



## 1、はじめに

地域医療連携室より挨拶

地域の先生方におかれましては、常日頃から当院の地域医療連携にご協力いただきありがとうございます。コロナ禍でなかなか先生方にご挨拶へ伺うことができないため、昨年度から情報発信としてメールマガジンの発行を開始し、4ヶ月が経ちました。まだまだ試行錯誤の段階で読みづらい点多々あると思いますが、当院のトレンドを可能な限りリアルタイムに伝えるべく、今後も定期的に配信していきたいと思っております。よろしくお願ひ申し上げます。



地域医療支援室長

消化器内科科部長 雨宮 史武

平素より当院との医療連携に関してご理解とご協力をいただきありがとうございます。この度、4月から地域連携室に配属となった丹澤と申します。かかりつけの先生や地域の病院からの連携が充実できるよう努めていきます。また、地域の医療・福祉・介護と切れ目のない連携を図り他職種統合能力を発揮し、住み慣れた地域で暮らすお手伝いをしていきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

地域医療連携係

看護師長 丹澤 千晶

平素から看護における連携の推進につきまして、ご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。コロナ禍ではありますが、「顔の見える関係づくり」「地域の連携」の向上を目指しており、今後はオンラインを活用したカンファレンス等にも積極的に取り組んでいきます。引き続きよろしくお願ひいたします。

看護支援室 看護支援係

看護師長 中込久美子

## 2、トピックス

### ① <肛門科の紹介>

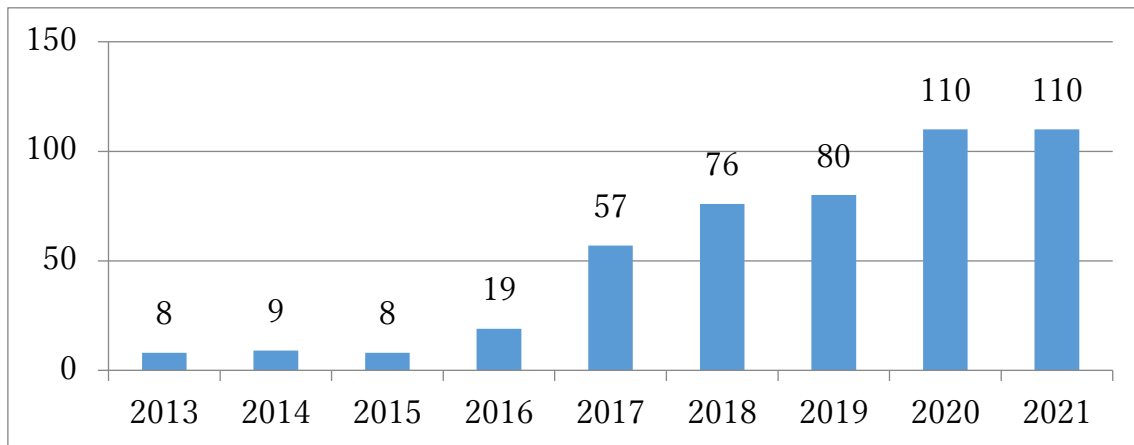
大腸肛門外科センター/副院長 飯野 弥

2016年の大腸肛門外科センター開設以来、肛門良性疾患に対しても精力的に治療を行っています。主な対象疾患は痔核、裂肛、痔瘻、直腸脱等です。肛門疾患は生命にかかわるような重篤な疾患ではありませんが、患者さんにとってはQOLをかなり下げている場合が多く肛門科の需要は多いようです。最近には県内の広い地域からご紹介をいただき、手術件数も増加しています。当科の診療の状況を紹介します。

- 1) 痔核：基本的には保存的に治療しますが、出血のひどいもの、脱肛が第3度（指で戻さない）と戻らない）以上のものは手術適応としています。内痔核に対する硬化療法（ALTA療法）が開発され当科でも内痔核のほとんどを硬化療法で治療していますが、外痔核を合併している場合が多いので、外痔核は切除し内痔核は硬化療法を行う併用療法で治療しています。また、全周性の内外痔核で脱出の高度なケースに対しては吊り上げ固定術（ACL：Anal Cushion Lifting）で良好な結果を得ています。種々の併存疾患がある患者様にも可能な限り対応しています。
- 2) 裂肛：やはり保存的治療が主体ですが、狭窄が高度で排便障害をきたしている場合や、潰瘍が遷延化している場合は手術対象となります。
- 3) 痔瘻：基本的に手術適応です。長期経過例で2次孔が複数ある場合などは触診では判別できない深部の瘻管が併存していることも多いため、MRIを撮影して診断しています。また、10代から20代前半の若年者の痔瘻は、クローン病の初発症状の可能性があるので必ず大腸内視鏡検査を行っています。
- 4) 直腸脱：軽度（脱出5cm以下）の直腸脱のみの場合は、肛門側からの修復術で対応していますが、6cm以上の高度脱出例や子宮脱、膀胱脱を合併している場合は腹腔鏡下にメッシュを用いた吊り上げ固定術を行っています（LVR：Laparoscopic ventral rectopexy, LSC: Laparoscopic Sacrocolpopexy）。

手術が必要な場合には受診から一か月以内には手術できるようにしています。今後とも宜しくお願い申し上げます。

<肛門疾患手術件数>



② ストーマ外来



ストーマ外来（スキンケア外来）

紹介をお断りした件数0件！



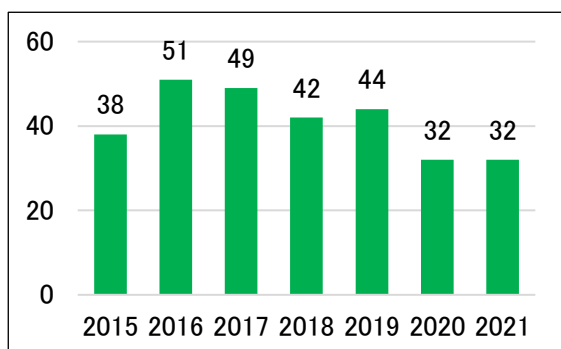
患者様のストーマに関して、お困りがありましたらご紹介下さい。他院での造設または、何十年も前の造設で終診、通院先にストーマ外来が無い…など、患者様の受診希望があり、主治医の御判断があれば、お断り致しません。

羞恥心から自身がオストメイト（ストーマ保有者）であることを隠し、一人で解決しようと苦勞されていることが非常に多く、専門外来があることをご存知ない場合も多いのです。

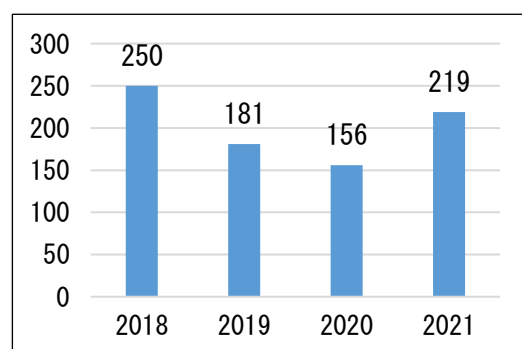


当院における過去の実績

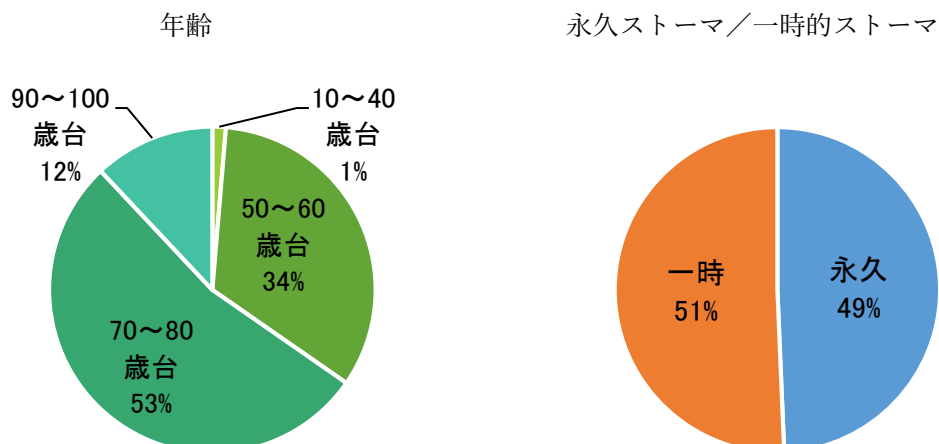
ストーマ造設件数



ストーマ外来件数(延べ)

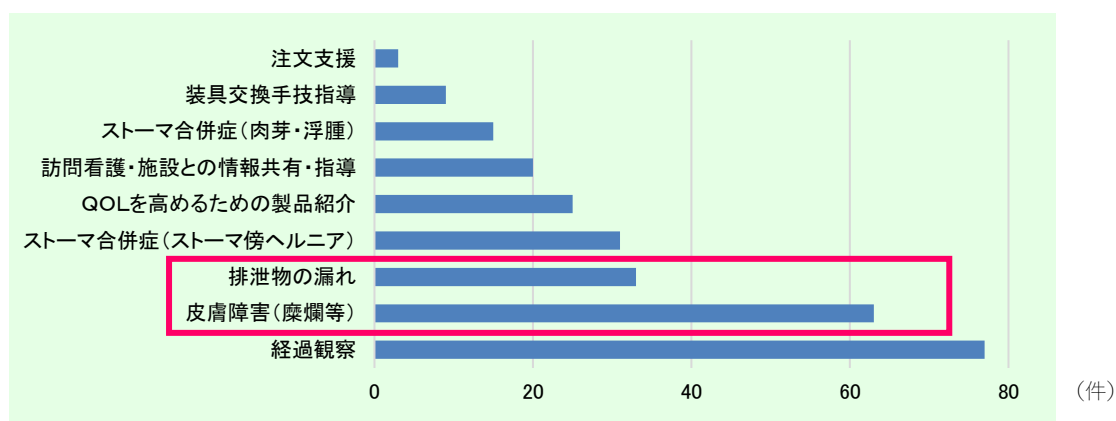


## 当院のストーマ造設患者の割合（2019年4月～2020年3月）



70歳以上が65%と高齢での造設が多くなっています。一時的ストーマの割合が増加傾向で、永久ストーマを上回る状況です。一時的ストーマの90%近くが半年以内に閉鎖に至ります。

## ストーマ外来介入内容（2021年）



受診時の状況は、皮膚障害（糜爛や潰瘍、離開、化学療法の副作用等）や晩期合併症、排泄物の漏れが多く、それに付随して装具の変更等も行います。

## ストーマトラブルで他院からご紹介頂いた事例

- 90歳代女性 独居 直腸癌 消化管穿孔で他院にて緊急手術施行
- 退院後、排泄物の漏れにより生活が成り立たなくなっていた  
お孫さんが当院HPからストーマ外来を見つけ、主治医に相談し紹介受診に至りました
- ①排泄物性状の調整、②装具の変更、③装具交換手技の指導を行い、**皮膚障害は2週間後に治癒**。3ヶ月後にはストーマの状態だけでなく、**全身状態やQOLの改善**も認められました

	初回受診		3か月後
装具交換	1日3～4回		<b>週2回</b>
体重	33kg (退院後も減少が継続)	➡	39kg ( <b>術前体重まで回復</b> )
ADL	寝たきり(便が漏れるので)		杖をつき外出
精神状態	食欲低下、不眠、うつ		活発

娘：退院してから、通院先の先生や看護師さんにみてもらっていたけど、漏れとの闘いで…皮膚がただれて痛がるのを見るのが本当にせつなかったです。

元気だった母が、寝たきりになって食べなくなって…痩せてしまって、ここへ来たらあの苦労は 何だったんだろうって。先生がここへ紹介してくれて本当に良かったです。

本人：ここに来て良かった。看護師さんの顔を見たら安心できる。

漏れ無くなって痛くなって安気(あんき)した。来るのが楽しみだよ。

あちこち飛び歩いてる！ お風呂も入ってるよ。

※事前に、患者様ご家族より掲載許可を頂いております。

#### ストーマ外来 (スキンケア外来) 予約方法

**予約制** ※担当者不在等で休診もございますので、事前にご連絡下さい

■ 消化器：毎週木曜日 13時～16時、金曜日 10時～13時

■ 泌尿器：毎週金曜日 16時

#### 【ご連絡先】

市立甲府病院 代) 055-244-1111

→代表電話から、外科外来か泌尿器科外来へ“ストーマの相談”とお伝え下さい。

#### 【受診にあたり】

- ✚ 合併症の様子や問診等で、初回は平均1時間程度かかります
- ✚ お一人お一人のニーズに沿ってケア致します
- ✚ 受診の際は、セルフケア状況を確認するため、いつも使用されているストーマ装具やケア用具(はさみ、剥離剤、テープや軟膏)を持参して頂きます
- ✚ 前日や当日の装具交換は必要ありませんので、そのままご来院下さい

外科医師 飯野弥 副院長

看護師 新井佳那子 皮膚・排泄ケア認定看護師

